

該当する事項以外は抹消する。

様式第3の5

届出日を記載する。

記載例
(使用届出)

水銀排出施設 ~~設置~~ (使用 ~~変更~~) 届出書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 宇都宮市長

届出者が代表者でない場合、委任状が必要となる。

届出者 氏名又は名称及び住所並びに
法人にあつてはその代表者の氏名
(電話番号)

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇

〇〇株式会社

代表取締役 〇 〇 〇 〇

代表
者印

(TEL〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

設置：第18条の23第1項
使用：第18条の24第1項
変更：第18条の25第1項

大気汚染防止法 ~~第18条の23第1項~~ (第18条の24第1項、~~第18条の25第1項~~) の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社〇〇工場	※整理	水銀排出施設を設置する工場等の名称を記載する。
工場又は事業場の所在地	〇〇市〇〇町〇〇-〇〇	※受理年月日	水銀排出施設を設置する工場等の所在地を記載する。
水銀排出施設の種類	8 廃棄物焼却炉(1基)	※施設番号	施行規則別表第3の3に掲げる項番号、名称及び施設数を記載する。
水銀排出施設の構造	別紙1のとおり。	※審査	
水銀排出施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
水銀等の処理の方法	別紙3のとおり。	※備考	
参考事項			

- 備考
- 1 水銀排出施設の種類欄には、大気汚染防止法施行規則（以下「施行規則」という。）別表第3の3に掲げる項番号及び名称を記載すること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
 - 5 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。
 - 6 施行規則様式第2による受理書の写しを添付し、参考事項の欄に、当該受理書の受理番号及び受理年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が別紙1～3の全部又は一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙1～3の全部又は一部を省略することができる。

水銀排出施設の構造

工場又は事業場における施設番号		1号焼却炉	施設番号を記載する。
名称及び型式		〇〇焼却炉 ABC-1型	施設の名称及び型式等を記載する。
設置年月日		平成〇〇年〇〇月〇〇日	施設の設置年月日を記載する。
着手予定年月日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規模	伝熱面積 (m ²)		施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目について、該当する規模を記載する。
	燃料の燃焼能力 (重油換算 l / h)		
	原料の処理能力 (t / h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)	2 m ²	
	変圧器の定格容量 (kVA)		
	焼却能力 (kg / h)	200 kg/h	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目について記載すること。
- 3 水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本工業規格 A 4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。ただし、施行規則様式第2による受理書の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が構造概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該概要図の添付を省略することができる。

水銀排出施設の構造概要図を添付する。

水銀排出施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1号焼却炉		施設番号を記載する。
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	9時～17時 8時間/回 1回/日 20日/月	時～時 時間/回 回/日 日/月	使用状況を記載する。
	季節変動	通年(変動無し)		
原材料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	廃プラ、廃油、木くず、汚泥		<ul style="list-style-type: none"> 水銀等の排出に影響のある原材料や燃料を使用する場合に記載する。 水銀含有量は、代表値や平均値を記載する(幅記載でも差し支えない)。 事業者において水銀含有量の測定が不可能な場合は、空欄でも差し支えない(例:梱包された状態での処理が求められる感染性廃棄物)。
	使用割合	廃プラ:廃油:木くず:汚泥 =〇%:〇%:〇%:〇%		
	原材料中の水銀等含有割合	廃プラ:〇〇mg/kg 廃油:〇〇mg/kg 木くず:〇〇mg/kg 汚泥:〇〇mg/kg		
	1日の使用量	〇〇〇kg		
燃料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	〇〇〇〇		
	燃料中の水銀等含有割合	〇〇mg/kg		
	通常の使用量	〇〇ℓ/h		
	混焼割合	100%(専焼)		
排出ガス量 (Nm ³ /h)		湿り	最大 5,500 通常 5,000	最大 排出ガス量(湿り・乾き)を記載する。
		乾き	最大 5,200 通常 4,700	最大 排ガス中の酸素濃度を記載する。
排出ガス中の酸素濃度 (%)		12		
水銀濃度 (μg/Nm ³)	全水銀	1.4		<ul style="list-style-type: none"> 水銀濃度は、乾きガス中の平均的な濃度を記載する。 測定実績がない場合、設計値等の記載でも可(ただし、定期測定の結果と大きく異なる場合は変更届出が必要となる)。
	ガス状水銀	1.3		
	粒子状水銀	0.1		
参考事項				

- 備考
- 1 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。
 - 2 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
 - 3 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出のために採っている方法等を記載すること。

水銀等の処理の方法

水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号		1号焼却炉バグフィルター		処理施設番号を記載する。	
処理に係る水銀排出施設の工場又は事業場における施設番号		1号焼却炉		施設番号を記載する。	
水銀等の処理施設の種類、名称及び型式		ろ過式集塵装置 D-123		処理施設の名称及び型式等を記載する。	
設置年月日		平成〇〇年〇〇月〇〇日		施設の設置年月日を記載する。	
着手予定年月日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日	
処理能力	排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	最大 5,500 通常 5,000	排出ガス量(湿り・乾き)を記載する。	
		乾き	最大 5,200 通常 4,700		
	排出ガス温度 (°C)	処理前	300	排出ガス温度(処理前・後)を記載する。	
		処理後	100		
	排出ガス中の酸素濃度 (%)		12	排ガス中の酸素濃度を記載する。	
	水銀濃度 (µg / Nm ³)	全水銀	処理前	16	<ul style="list-style-type: none"> 施設の構造上の理由などにより測定が不可能な場合、「処理前」及び「捕集効率」の欄は空欄でも可。 測定実績がない場合、設計値等の記載でも可(ただし、定期測定の結果と大きく異なる場合は変更届出が必要となる)。
			処理後	1.4	
		ガス状水銀	処理前	15	
			処理後	1.3	
	粒子状水銀	処理前	2		
処理後		0.1			
捕集効率 (%)	全水銀	91			
	ガス状水銀	91			
	粒子状水銀	95			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	9時~17時 8時間/回 1回/日 20日/月	時間/回 回/日 日/月		
	季節変動	通年(変動なし)	使用状況を記載する。		

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設(集じん機等)について、記載すること。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。ただし、施行規則様式第2による受理証の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が当該構造図及び概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該構造図及び概要図の添付を省略することができる。

水銀等の処理施設の構造概要図を添付する。

参考事項

記載上の注意 1 届出等に係る工場・事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○印で囲むこと。
2 届出書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらためて記載又は添付を必要としない。

届出等担当者 (連絡先)	氏名 ○○○○	所属 部課名 ○○○部 ○○○課	電話 ○○○○-○○-○○○○ FAX ○○○○-○○-○○○○
公害防止管理者	1 要 2 不要	選任要 のとき	職・氏名 試験又は 資格の区分
公害防止責任者	職・氏名 工場長 ○○○○		
従業員数 ○○人	主要 製品名 ○○○○	日本標準産業分類の 小分類番号・項目	○○○○
特定施設メーカー名	○○○○	処理施設メーカー名	○○○○
<p>特定施設が関係する製造工程の概要</p> <p>焼却炉 → バグフィルター → 煙突</p> <p>焼却炉: 廃棄物, 燃料 バグフィルター: ガス冷却</p>			
特定施設等を 設置する土地	用途 地域 ○○○○	敷地 面積等 (既存面積 ○○○ m ² 新規・増加面積 m ² 登記地目)	
特定施設等を 設置する建物	新築 (床面積 m ²)	増改築 (床面積 m ²)	
工場・事業場 当初設置年月日	昭和○○年○○月○○日	水質関係特定施設 当初設置年月日	年 月 日
排水先 (水質関係に係る届出 書に添付のときにのみ 記載)	複数の排出口があり、異なる用水路・河川に排出される場合にはその全てについて記載すること 排水水の排出先の用水路名 () ↓ 排水水の排出先の河川名 ()		
環境協定 公害防止協定	締結 1 有 2 無	締結有 のとき	今回の特定施設等の 届出に関する事前協議 1 要 2 不要 事前協議 1 協議済 要のとき 2 協議予定
周辺における公害 苦情等の問題	現在解決して いない苦情 1 有 2 無	有のときは その区分	1 ばい煙 3 汚水 5 騒音 7 水銀 2 粉じん 4 悪臭 6 振動 8 その他 ()

その他、別紙として次の書類を添付する。

- 工場・事業場の平面図(建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設を朱塗すること。なお、汚水に関する届出等については、排水水の汚染状態を測定するための採水場所を記載、朱塗すること。)
- 工場・事業場の案内図(工場・事業場に至る経路を記載すること。)
- ばい煙発生施設及び水銀排出施設に関する届出書等については煙突立面図(主要寸法、測定孔の位置及び内径を記載すること。), 原材料及び燃料の分析表
- 水質に関する届出書で特定有害物質を使用等する施設については、条例施行規則第17条の規定を遵守していることを明示した図面等

届出等に係る工場・事業場の状況等について記載する。

工程の概要を記載する(別紙の場合、その資料を添付する)。

工場・事業場の案内図・平面図を添付する。

煙突立面図、原材料及び燃料の分析表(水銀等の含有量)を添付する。